

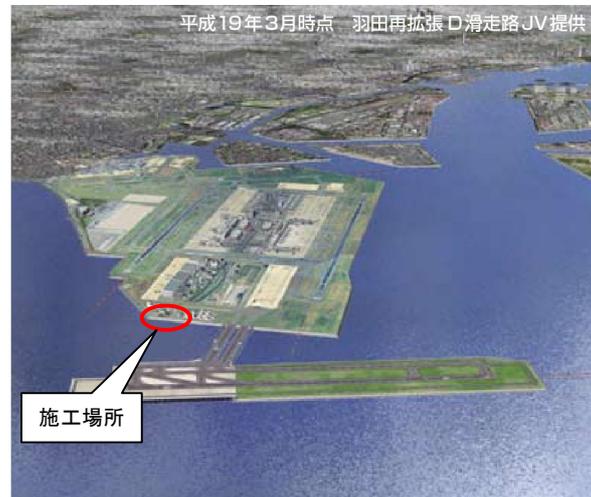
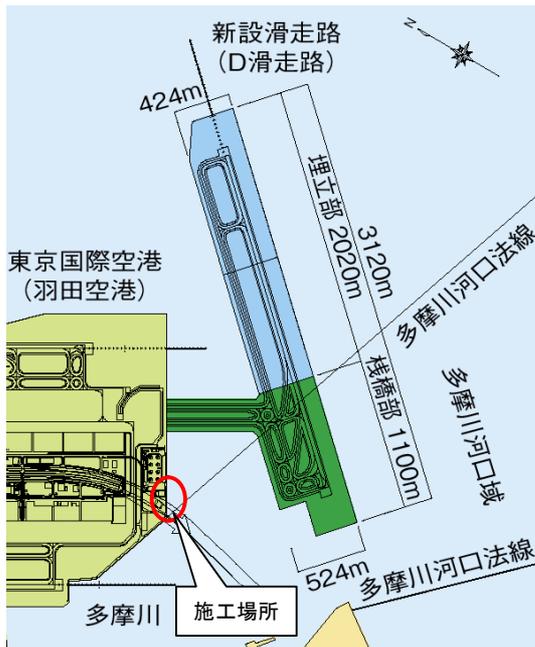
平成20年1月26日 現場日記

24時間365日、D滑走路建設工事が行われている傍らで係留施設の工事が行われています。

この係留施設は、D滑走路建設工事中は工事の監督をするための船舶が使用します。

今回の現場日記では、その工事状況をご紹介します。

施工場所は、下図の通り。D滑走路展望台の目の前です。



【D滑走路展望台】

東京国際空港D滑走路建設工事に関する情報をお伝えするため、羽田空港南端の三愛石油付近に展望施設を開館しています。

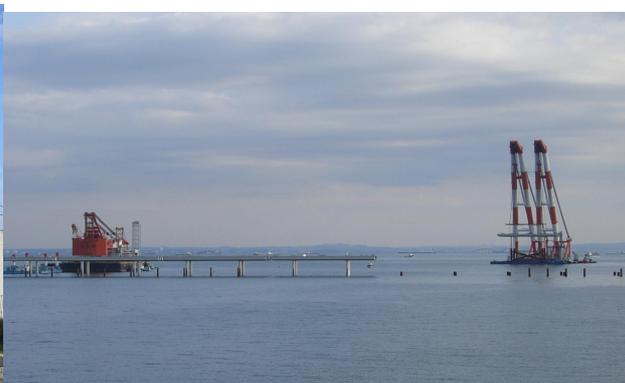
開館日：日曜日～金曜日

開館時間：10:00～17:00

お問い合わせ先：03-6426-7211 (NPOみなとサポート)



D滑走路展望台



ジャケットの据付の様子も間近で見られます

今回施工する係留施設は、約51mの棧橋と約25mの渡り橋（陸上から棧橋に渡るための橋）から成ります。



11月4日

障害物撤去

工事に支障となる海底の大きな石などを撤去します。



11月21日

基礎杭打設

450t 吊り級のクレーン付台船にて係留施設（棧橋）の基礎となる鋼製の杭を打ち込みます。

杭の大きさは、
直径約80cm
長さ約60m
です。



12月27日

コンクリート打設

渡り橋を架けるための台となる鉄筋コンクリートの橋台を造ります。



1月26日

渡り橋架設

陸上から栈橋へ渡るための橋（渡り橋）を工場で作製し、現場まで運んできます。

上の写真は、渡り橋の架設に使用する 400t 吊り起重機船（M-58）です。



渡り橋を架設したのち、桁の位置を油圧ジャッキを使用して慎重に調整します。

今後、附帯施設などの工事を進めていきます。



今後も工事の安全に十分注意をしながら、24時間365日の工事を進めていきます。